

令和3年度農林水産省調達改善計画の上半期自己評価（概要）

1. 重点的な取組

(1) 一者応札（応募）の改善について

- ① 国有林野の管理運営について、他の調達分野に比べ、一者応札の割合が高いことから、一者応札の改善に向けた取組として、
 - ア 物品調達について、地理的条件や時間的な制約を解消し、入札参加機会の拡大を図るため、電子調達システムを活用した電子入札を実施した。（実績 170 件／170 件）
 - イ 役務調達のうち造林・素材生産事業について、入札参加時に提出する資料の一部を、当該年度の初回参加時のみとする簡素化を行った。（実績 841 件／841 件）
- ② 競争性を向上させるため、令和4年度契約に向けた調達予定セミナーを、業務内容、発注スケジュールがより詳細となる下半期に実施する。

(2) 随意契約の更なる改善

予定価格が少額で随意契約が可能とされている調達案件について、引き続き一般競争入札を実施した。（実績 476 件）

(3) 随意契約における価格交渉の推進

令和3年度上半期においては、契約の相手方が特定される調達案件（特命随意契約）で、価格交渉による効果が見込まれる案件がなかったため、引き続き、価格交渉が可能な案件があった場合には、積極的に取り組む。

2. 共通的な取組

(1) 調達改善に向けた審査・管理の充実

- ① 新規案件及び前回一者応札（応募）となった案件について、会計担当職員によって構成される入札・契約手続審査委員会において、事前審査を実施し、競争性の阻害要因の有無や、前回の改善策が反映されているかの確認等を行った。（実績 1,201 件）
- ② 一者応札（応募）となった案件について、入札・契約手続審査委員会において、次回の調達に向けての改善策等について事後審査を実施した。（実績 326 件）
- ③ 一者応札（応募）となった案件について、外部委員により構成される入札等監視委員会において、次回の調達に向けての改善策等について審議を行った。（実績 150 件）

(2) 地方支分部局等における取組の推進

- ① 少額随意契約による調達案件について、12 の地方農政局、森林管理局等の機関（うち 1 機関が新たに実施）がオープンカウンター方式による調達を実施した。（実績 197 件）
- ② 公用携帯の電話料金契約について、回線数や料金プランの見直しを実施した 4 機関において前年度と比較し、約 136 万円の削減効果があった。
- ③ 少額の物品調達について、3 機関がインターネット取引を利用する手続を実施した。（実績 50 件）

(3) 電力調達、ガス調達の改善

- ① 電力調達について、再生可能エネルギー（RE）比率 30% 以上を導入するため、17 官署で一般競争入札を行った結果、4 官署で RE30 を導入した。
また、新たに 4 官署において、一般競争入札による調達を行った。そのほか、4 官署でこれまで庁舎単位で調達していたものを複数庁舎でまとめて一括調達を行った。
- ② ガス調達について、一般競争未実施の官署において、その実施可能性を検討した。